

平成29年度第11回沼田市教育委員会会議録

1 期日

平成30年2月22日（木）

2 場所

中央公民館学習相談室

3 出席者

大竹孝夫教育長、保坂充勇委員、星野貴昭委員、飯田富美子委員、平形昇委員

4 沼田市教育委員会会議規則第19条第3号による出席者の職・氏名

高山正教育部長、藤井隆庶務課長、竹之内篤学校教育課長、平井通晃社会教育課長、川田正樹スポーツ振興課長、鶴淵佳秀庶務課長補佐

5 開会宣言（午前10時35分）

6 日程第1 会期の決定

会期は、2月22日の一日と決定

7 日程第2 会議録署名委員の指名

教育長が星野貴昭委員を指名

8 日程第3 議案第21号 沼田市学校給食センター実施委員会規程の一部を改正する訓令について

庶務課長が議案書添付資料により説明

異議なく原案のとおり決定

9 日程第4 議案第22号 沼田市立中学校部活動指導員設置要綱について

学校教育課長が議案書添付資料により説明

（教育長）

現在実施しているエキスパート事業との違いについて、補足説明願いたい。

（学校教育課長）

一番大きな違いは、エキスパート事業がボランティア的な扱いであるのに対

し、部活動指導員は市の臨時職員として雇用することである。また、指導員単独での大会への引率や技術指導が可能となる。

(平形委員)

勤務の扱いが難しいと思うので、管理職による勤務管理等に留意する必要がある。

(学校教育課長)

運用にあたっては、ご指摘いただいた点について留意したい。

(飯田委員)

指導員の選出や配置は決まっているのか。また、指導員設置によりエキスパートは減るのか。

(学校教育課長)

指導員の選出や配置については、学校の状況を踏まえ、今後検討する予定である。エキスパートの人数は、指導員の設置により減ることはない。

異議なく原案のとおり決定

- 10 日程第5 議案第23号 平成29年度沼田市小中学校学芸文化優秀表彰について

学校教育課長が議案書添付資料により説明

異議なく原案のとおり決定

- 11 日程第6 議案第24号 学芸文化・体育特別賞について

学校教育課長が議案書添付資料により説明

異議なく原案のとおり決定

- 12 日程第7 教育長報告

(教育長)

委員の皆さまには、この1月余り寒い中、色々な行事に積極的に出席をいただき感謝申し上げます。今月の定例校長会で話した内容を3点ほど報告したい。

1 学力向上

年度末にあたり、子どもたちが分からないこと、理解していないことを明確にし、この2か月で身に付けさせてほしい。その成果を4月以降の標準学力検査や学力調査で出してほしい。

2 小学校英語教育

4月からの先行実施にあたり、スムーズに導入できるように、この2か月間準備をお願いしたい。市としては、ALTを8名から9名に増員し応援するとともに、要望があれば指導主事を派遣する。

3 働き方改革を念頭に置き、次年度の計画を策定を

- (1) 4月から部活動休養日を週2日設けるようになる。そのうち1日は平日、週休日の土日のうち、どちらかを休むということで進めたい。平日に部活動の無い日が1日できるので、その放課後を校長の裁量で有効に使っていただきたい。
- (2) 校務支援システムを導入する。通知表や要録の作成に、かなりの効率化が図れる。4月からスムーズに運用できるよう準備を進めていただきたい。
- (3) 夏休み完全休業日を平成30年度も実施する。3月には年間スケジュールを示せるので、それを基に学校でも計画を組んでほしい。

(教育部長)
なし

(庶務課長)

- ・3月の主な行事予定について
- ・平成30年度沼田市教育行政方針(案)について
- ・平成30年度沼田市人権教育推進方針(案)について

(社会教育課長)

- ・第24回生涯学習フェスティバル・第47回公民館まつりの実施結果について(別紙)
- ・上毛かるた競技県大会結果について

(教育部長：文化財保護課長欠席のため)

- ・沼田城遺跡発掘調査事業に伴う事業の執行状況について

(スポーツ振興課長)

- ・入札結果について
- ・各種大会結果について
- ・第20回ぬまた駅伝大会について

(星野委員)

議案第21号に関連する沼田市給食センター管理及び運営に関する規則について、災害に関する規定が無いが、新しい給食センターが完成した際には、盛り込まれるのか。

(庶務課長)

新学校給食センター整備事業については、基本設計に取り組んでいる段階であり、災害に関することも検討している。どういう施設になるか現段階では確定していないが、規則についても完成する施設に合わせて、今後、検討を行いたい。

(飯田委員)

教育長報告の部活動の休養日は、各学校で違うのか。

(教育長)

平日1日、土日のうち1日ということは決まっているが、内訳は各学校長の裁量による。

(学校教育課長)

学校により状況が違うことから、全校で休養日を統一することは難しいと思われる。

(保坂委員)

教育長報告で校務支援システムを導入する話があったが、もう少し詳しく説明願いたい。

(学校教育課長)

担任は学期末に通知表を作成する。そして、年度末に指導要録を作成する。それらを極めて効率的に作成できるシステムである。

また、これから道徳が教科化され、記述による評価が求められるようになり、外国語活動も記述による評価である。それらが効率的に作業できるようになる。

(庶務課長)

そのほか教職員の出退勤管理やメールも含めて、総合的に校務を支援できるシステムである。メールは保護者あてに送信したものが、保護者がメールを開くと既読と送信者側に分かるようになっている。

(保坂委員)

2020年度からプログラミング教育が必修化されるようだが、沼田市ではどのような対応を考えているのか。

(学校教育課長)

プログラミング教育は、小学校では算数や理科、総合的な学習の時間など、既に行われている教科等の中で、これまでの学習内容と関連付けて実施することとなっている。中学校では技術・家庭科の情報に関する技術においてプログラミングに関する指導内容が増加されることとなっている。

現段階では国から教材や資料、授業のあり方等について示されていないが、県教委によるプログラミング教育に視点を当てた研修会が予定されていることから、研修会に参加していただいたり、市教委としての情報収集やその情報提供に努めたい。

13 閉会宣言（午前11時36分）